

## 令和4年度 国語科 「総合古典」 シラバス

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 3年A～D組（文系）
教科書	新精選古典B古文編（明治書院）	副教材等	完全マスター古典文法（第一学習社）、Look@古文単語337（京都書房）、新訂総合国語便覧（第一学習社）、日本文学史必携（第一学習社）、改訂版共通テスト対策古典完答22（尚文出版）

## 1 学習の到達目標

2年次までの「国語総合」「古典B」で身につけた古文の読解力をより高め、複雑で高度な内容を主体的に読み解く力を育成する。その能力を活用し、古文の豊かな世界観から現代に通じるものの見方、感じ方、考え方を見極め、見識を深めて人生の豊かさを味わう態度を養う、自国の文化を深く理解し、それらを愛し、国際化社会において誇り高く生きる日本人としての自覚を培い、多様な文化を尊重する態度を養う。

## 2 学習の計画

月	単 元 名	学習項目	主な学習内容や学習活動	主な評価の材料
4	宮廷生活を理解する	随筆「枕草子」 ・うつくしきもの ・二月つごもり頃に など	・筆者のものの見方、感じ方を読み取り、自らの感性を磨かせる。また、当時の貴族の生活や教養についての認識を深める。	・筆者の人柄と感性を理解し、機知に富んだ作品の面白さを読み取ろうとしている。（行動の観察）
5	歴史物語を読み味わう	物語「大鏡」 ・道真の左遷 物語「源氏物語」 ・車争ひ など	・登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。	・登場人物の境遇や心情を読み取ろうとしている。（行動の観察）
	登場人物の心情を読み取る	日記「和泉式部日記」 ・夢よりもはかなき世の中を	・和泉式部という人物の悲しみや人生を読み取る。	・登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取ろうとしている。（行動の観察）
6	異なる作品を読み比べて人物像を考える	日記「紫式部日記」 ・和泉式部・清少納言	・「紫式部日記」と「無名草子」という異なる作品の人物評を比較し、紫式部、清少納言、和泉式部らが、筆者からどのように評価されているかを的確に読み取る。	・中古の女流作家に関する内容を理解し、「枕草子」と「源氏物語」の成立や作者たちについての関心を深めている。（行動の観察）
	平安朝の人々の価値観を考える	評論「無名草子」 ・紫式部 など	・物語全体の着想の奇抜さや新鮮さ、文章のテンポの速さとリズムなどを味わいながら、登場人物の心情を状況や行動に即して読み取る。	・登場人物の行動や心情から、当時の人間の生き方や考え方を読み取ろうとしている。（行動の観察）
7	和歌の修辞を理解する	物語「堤中納言物語」 ・虫めづる姫君	・和歌などを通して筆者の考えを読み取るとともに、歌人の意図を知る。	・和歌の修辞と物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。（行動の観察）
8	筆者の心情を読み取る	評論「無名抄」 ・おもて歌のことなど		
9		日記「蜻蛉日記」 ・町の小路の女など	・作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。	・作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。（行動の観察）
		日記「建礼門院右京大夫集」 ・今や夢昔や夢		※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。

月	単 元 名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料
10	情景描写と人物の心情を関連させて物語を味わう	物語「源氏物語」 ・心づくしの秋風 ・野分の垣間見 ・三日がほど ・紫の上の死 など	・情景の描写と重ねて主人公の心情が描かれていく叙述の特徴を読み取る。  ・女三の宮の降嫁が、光源氏と紫の上に与えた影響について考える。	・須磨の地における主人公の心情を和歌の解釈を踏まえて理解しようとしている。（行動の観察） ・紫の上と光源氏、それぞれの苦悩を理解しようとしている。（行動の観察）
11	和歌を通じて日本の伝統文化を考える	評論「古今和歌集 仮名序」 ・やまと歌は 評論「毎月抄」 ・心と詞	・二つの歌論を読み、筆者それぞれの和歌に対する感じ方や考え方を読み取る。	・筆者二人がそれぞれ主張する和歌の本質と効用を、的確に読み取ろうとしている。（行動の観察）
12	普遍的な人間の内面世界を見つめる	物語「大鏡」 ・鶯宿梅	・仮名序の作者である貫之の娘が登場する物語と関連させながら、和歌の持つ力を理解する。	・登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取ろうとしている。（行動の観察）
12	能楽書から人生訓を読み取る	評論「風姿花伝」 ・秘する花を知ること	・能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解する。	・内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。（行動の観察）
1	物語の存在意義を考える	評論「源氏物語玉の小櫛」 ・もののあはれの論 など	・物語論を読み、筆者の論旨を理解するとともに、物語を読む意義などについて考える。	・筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとしている。（行動の観察）
1	俳諧を通じて一語の重みを考える	評論「三冊子」 ・不易流行	・俳論を読み、筆者の主張を読み取らせるとともに、焦門俳諧の特色を理解する。	・筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとしている。（行動の観察）
2	近世の怪異小説を読み、描写のすばらしさを知る	近世小説「雨月物語」 ・浅茅が宿	近世を代表する怪異小説を読むことで、情景描写・会話描写のすばらしさ、物語の面白さを味わう。	・近世小説の面白さを読み取ろうとしている。（行動の観察）  ※定期考査や小テストの結果、授業中の発表や提出物の状態を総合的に評価する。

### 3 評価の観点

関心、意欲、態度	古文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古文についての理解や感心を深めようとしている。
読む能力	古文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。
知識、理解	伝統的な言語文化及び古文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。

### 4 評価の方法

「関心、意欲、態度」、「読む能力」、「知識、理解」の3観点から、評価規準に従い、定期考査・課題テストの結果、アウトプットの仕方、提出物の在り方、授業中の姿勢などを鑑み、総合的に評価する。
---

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力をつけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

「国語総合」では文字通り、現代文と古典を総合的に学んできましたが、「総合古典」では、古文に特化してさらに深く、作品を読み込んでいきます。まずは基本的事項（文法や句法、語句の意味や古文常識など）を定着させ、自力で古文を読み味わう力をつけていきましょう。その上で、古文をただの読み物として捉えるのではなく、現代と結び付けながら何かを学び取っていく態度を養ってください。それが古文に対する更なる興味へと繋がり、「古典」が楽しくなってくると思います。
---